

# 議 平生町 議会だより

3月議会報告

第160号

3月定例会 3/8~22 (15日間)

2021年4月23日

発行 平生町議会 発行責任者 中川 裕之  
〒742-1195 山口県熊毛郡平生町大字平生町 210-1  
TEL 0820-56-7110 FAX 0820-56-7109  
E-mail gikail@town.hirao.lg.jp  
編集 議会広報広聴調査特別委員会  
印刷 中村印刷株式会社



新庁舎起工式 3月16日

主  
な  
内  
容

令和3年度当初予算の概要	2ページ
予算特別委員会 <small>討論</small>	3~5ページ
常任委員会審査報告・臨時会	6ページ
いっぱん質問5人	7~11ページ
原発事故の認識／オリーブの特産品化と漁業振興／SDGs／自殺予防 窓口業務のあり方／農地を皆で守る／企業誘致／環境整備・美化で経済効果 責任水量の有効活用を／定例会の結果（反対のあったもの）	
人事案件・魅力ある議会づくり調査特別委員会 議会の動き・6月定例会予定など	12ページ

# 令和3年度予算の概要



総額 100 億 303 万円 前年度比 8 億 4,345 万円増 (9.2%増)

[一般会計] 57 億 9,800 万円 前年度比 7 億 5,100 万円 14.9%の増加過去最大!

[特別会計] 42 億 503 万円 前年度比 9,245 万円 2.2%の増加

予算編成テーマ: [地域がひとが輝く魅力あるまちづくり]

## 令和3年度 予算編成方針

第五次平生町総合計画の基本構想に掲げる町の将来像「自然豊かな活気あふれる幸せのまち 平生」の現に向けて明るく輝く将来の姿を見据えた次世代につながる取組を進めていきます。(中略) 新庁舎整備事業、老朽化した公共施設の長寿命化対策、子ども子育て支援・高齢化社会対策の社会保障関係経費、デジタル化の推進など、町が抱える諸課題への解決に向けて創意工夫と柔軟な発想により効率的に事業を推進し、将来にわたる持続可能な行財政基盤の構築を進めていきます。

また、ポストコロナ期における社会変容、価値観の変化などを見据え、「新たな日常」への移行など未来へつなぐ財政運営を行う必要があります。(後略)

「当初予算の概要」より抜粋  
各地域交流センターで閲覧可。

## 予算の特徴

- ▽イタリアーノひらおプロジェクト事業 366万円
- ▽地方創生推進交付金事業(観光費) 17万円
- ※就農セミナー、オリープ植栽・研究会立上げ、オリープファーム整備、ロゴ入り段ボール作成補助、イタリアー野菜種子代金補助等 総事業費1,425万円
- ▽イタリアーノひらおロゴ入り「ベビーインカー」ステッカー配付事業 22万円
- ▽佐賀保育園園児送迎車両運行事業 366万円
- ▽産前産後サポート事業 17万円
- ▽高齢者おでかけ支援事業 46万円
- ▽人口減少対策 660万円
- ▽地域活性化起業人 660万円
- ※都市地域民間企業の社員を受入れ、業務のノウハウを活用し、まちづくりの推進に取り組む。
- 【新庁舎整備事業】 5億5,530万円
- 【新型コロナ対策事業】 6,662万円
- ▽新型コロナウイルスワクチン接種事業 6,662万円
- ※4月23日より「実証を兼ねた高齢者向け優先接種」開始。対象者 後期高齢者 昭和22年4月1日以前に生まれた人 予定人数 200人
- 【少子高齢化対策】 1,490万円
- ▽福祉医療対策(こども医療費助成事業も)

※一定の要件に該当する中学生まで拡充



「ベビーインカー」ステッカー (案)

## 主な条例 介護保険料改定

取得段階	対象者		所得など	新保険料額 (円)	旧保険料額 (円)	差額
	町民税本人	町民税世帯		令和3~5年度	平成30~令和2年度	
第1段階	本人非課税	世帯全員が非課税	前年の所得の合計が80万円以下	17,670	19,730	▲2,060
第2段階			前年の所得の合計が80万~120万以下	31,560	32,880	▲1,320
第3段階			第1・2段階に該当しない	44,180	46,030	▲1,850
第4段階			前年の所得の合計が80万円以下	56,800	59,190	▲2,390
第5段階(基準額)	課税	世帯の中に課税者あり	第4段階に該当しない	63,120	65,770	▲2,650
第6段階			所得-特別控除=120万未満	72,580	75,630	▲3,050
第7段階			所得-特別控除=120万以上210万未満	82,050	85,500	▲3,450
第8段階			所得-特別控除=210万以上320万未満	94,680	98,650	▲3,970
第9段階			所得-特別控除=320万以上500万未満	110,460	115,100	▲4,640
第10段階			所得-特別控除=500万以上700万未満	132,020	124,960	7,060
第11段階		所得-特別控除=700万以上	142,020	17,060	17,060	

※前年の所得の合計とは、課税年金収入額と合計所得金額の合計額

※特別控除とは、長期譲渡所得または短期譲渡所得に係る特別控除

# 予算特別委員会

予算特別委員会は、3月10日と12日の2日間行われ、付託された令和3年度一般会計予算と各特別会計予算は、審議の結果、全会一致または賛成多数で可決されました。

## 一般会計予算審議

**質** 令和3年度から総合計画、個別計画がスタートする。予算への反映は。

**答** 各課で個別計画の策定が必要だが、出来ていないものもある。定員管理計画は会期中に示せる。人件費は職員数を変えずに計上。行政改革推進計画は、

来年度に協議、検討が大半。デジタル化への対応など予算にのせていくものは検討する。

**質** 業務自動化支援等のイメージは、どれぐらい効率化されるのか。

**答** 職員が入力していた自治会の補助金申請等をデータ化していく。概算で40時間削減。3年度は自治会だけが、今後は横展開を図る。

**質** 集会所の建設補助金はどれぐらい申請があるのか。トイレの改修にも使えるのか。

**答** 大野喜多自治会から申請が出ている。100戸を超えているので上限は300万円、うち25万円は、トイレの改修に充てられる。



大野喜多集会所

**質** 自治会長へのメール配信、すべての自治会長が手持ちしているか。

**答** 町とのパイプ役は行政協力員。行政協力員さんには防災メールの登録をお願いし、情報を自治会内で周知されるようお願いする。

**質** 行政協力員さんも高齢化している。そこまで役割をお願いしているのか。

**答** 高齢化が進み機器を扱えない人もいると思う。個別にお願いする。



秋森バス停

**質** 秋森のバス待合所、撤去後はどうなるのか。

**答** 撤去のみで考えている。

**質** 地域おこし協力隊員と地域活性化企業人との関係は。

**答** 地域おこし協力隊員はイタリアーノひらおに関して従事。地域活性化企業人は移住・定住に特化した業務。

**質** 消防団員の編み上げ靴の更新は実際に現場で使えるものか。

**答** いま貸与している安全靴を更新していく。作業用と考えている。

**要望** 活動しやすい靴に変更してもらいたい。

**質** 消防団員は、高齢化で人数がどのように変わっていくのか。募集方法は。

**答** 日中の活動が難しくなっており町内勤務の人に協力いただけるよう条例改正を考えている。まず、本部を強化し、町外職員、各企業にお願いをしていく。ゆくゆくは公募したい。



消防団観閲行進

**質** 航空写真の協同撮影は固定資産税が適正に課税されるようになるのか。

**答** 地籍図、地目、取り崩された家屋の確認などにより、基礎資料の作成に活用する。

**質** 予備費が昨年より300万円多くなっているが、使い道とその報告は。町長にどこまでも委任しているものではない。

**答** 何かあったときのためのものであり、今後は見通せない。

**質** 会計年度任用職員が増えているのは業務が増えてからではないか。正規職員を増やすべき。

**答** 会計年度任用職員だけでなく正規も含めて考える。

**質** 職員数は、新年度117人でやっていくのか。

**答** 状況が変わらなければ今のままでいく。国からおりてくる事務に応じた判断したい。定員管理計画をもとに進めていく。

**要望** この10年間採用が少なかった。将来の幹部政策を考え、長期的な展望での職員の採用を求めたい。

**質** 新庁舎建設の起債はどこから借りて利息はいくらか。

**答** 地方公共団体金融機構で、借入額は4億7,950万円。

**要望** いずれ起債、償還の一覧表を作ってもらいたい。

**質** 佐賀保育園の送迎車の運行、委託の方法は。

**答** 近隣の業者に見積もりをとって決める。



佐賀保育園

**質** 児童クラブは、コロナで利用者が減っている。支援員は何人なのか。これからは。終了時間は、長い方がいいという意見がある。

**答** 平生、佐賀合わせて通年は12人任用。夏休みは支援員5人と補助支援員5人。利用が少なくなっている。利用人数を見ながら検討していきたい。

通常は18時まで、利用者の声を聞きながら検討する。

**質** 産前産後サポート事業。要望があったのか。

**答** 国の補助事業で1/2の措置がある。家族の支援がない妊産婦への相談および家事支援を民間業者に委託するもの。

**質** 地球温暖化対策推進基金は積み立てるばかりだ。対策は。

**答** 今後、国から方針が出るはずなので、それを見守っていきたい。



**質** レンタル農機具の輸送費は持ってきて引き取って9,000円な

のか。溝を掘るなどの農作業の機械も対象になるのか。

**答** JAに確認したところ往復9,000円ということであった。溝を掘る機械については、制度を詰める段階で検討したい。



**質** 山を手放したいという人が多いので森林経営管理制度にて意向調査をすれば、町の仕事量が増えるのではないか。

**答** 所有者が管理していくということを理解していただく必要があ

る。その上で意向を確認し、町で管理計画などを定める。



佐賀小体育館

**質** 佐賀小学校の体育館は西風によりこれまでも被害を受けているが、瓦は同じものをやり替えるのか。

**答** 過去に瓦が飛んだこともあったので、ガルバリウム鋼板で仕上げる。

**質** 図書館の情報システム改修の内容は。

**答** サーバー型からクラウド型に変更する。

**質** 災害復旧費を300万円にした根拠は。

最近豪雨も多く、多くした方がよかったのでは。

**答** 緊急用として計上しているが、足りなければ補正する。

**質** 柳井地域水道広域化事業負担金について、各自自治体の配水池から家庭に配るのはそれぞれの自治体で行っているが、そこも広域化するというのは。

**答** 今後の広域化のための検討書作成が目的。3年度は、現状把握や事業の分析、評価、課題の抽出を行う。

### 特別会計

#### 漁業集落環境整備事業

**質** 汚泥の処理費が以前から問題になっているが、変わっていない。厳しい基準で処理した水を流しているが、地元と協議して今、許されている基準まで戻したらどうか。

**答** よく調査し、検討したい。



漁業集落排水処理場

#### 介護保険事業

**質** 年金収入120万円〜150万円までの方の施設入所の給食費が2万円程度引き上げられ、年金が10万円程度の人は支出超過となるが、どうなるか。

**答** 収入を超える部分は預貯金で払うようになる。

#### 後期高齢者医療事業

**質** 75歳になると子供の扶養であってもこの保険に入らざるをえない。保険料も国保に対して高い。

**答** 後期高齢者になると相応に医療費がかかる。

# 賛成・反対 討論

要旨を掲載します



## 第五次平生町総合計画基本構想の策定について 反対討論（河内山宏充議員）

基本構想の構想内容を不備と判断し、反対の立場から討論します。

総合計画における基本構想は法的策定義務がなく、町として策定義務を定めた条例をつくり、総合計画は、町の総合的かつ計画的な行政運営の指針を示すもの、またまちづくりの長期的な展望を住民一人ひとりと共有するために必要な計画です。とするなら、議決案件である基本構想の構成とし

て、従来通り、人口指標は最低限、掲載すべき項目です。

第四次総合計画まで基本構想の項目であった目的と目標年度、人口指標の項目が、第五次平生町総合計画基本構想では外されています。

第五次平生町総合計画基本構想の策定について、人口指標の非掲載を基本構想の構成内容の不備として指摘し、反対の立場からの討論いたします。

## 令和3年度一般会計予算 反対討論（赤松義生議員）

「地域と人が輝く魅力あるまちづくり」をテーマに予算編成がなされていますが、住民の切実な要望に応えた予算が数多く存在し、関係者のご尽力に敬意を表すものです。デジタル化の推進が掲げられていますが、中心となるのはマイナンバーカードの普及促進です。この制度の導入は、社会保障を収めた税・保険料

に相当する対価を受け取るだけの仕組みに変質させようとするもので、社会保障を守るために廃止するしかありません。国は、25年度までに、住民基本台帳や地方税などの基幹系情報システムを標準化・共通化の基準に適合したシステムに移行するよう求めています。このことは、自治体が国の出先機関に変質させられる

危険性をはらんでいます。昨年度から会計年度任用職員が新設されました。非常勤及び臨時的任用の実態が地方公務員法の規定と乖離していることから導入されましたが、合法的な人員の調整弁となる可能性があります。地方公務員法の恒常の職の無期限任用の原則を有名無実なものにする危険もあります。

## 令和3年度一般会計予算 賛成討論（河内山宏充議員）

主な予算の事業、総合計画に合致したものであるかを総合的に判断し、賛成の立場から討論します。

新型コロナウイルス接種の実施、佐賀保育園の送迎事業、産前産後サポート事業、高齢者お出かけ支援事業など住民の不安を解消する施策が盛り込まれていると評価します。予備費の支出に当たっては、充用後、充用先、額、理由などを報告いただきたいと

思います。平生町定員適正化計画を総務委員会に示されたことは評価しますが、予算委員会の時に提出することは可能ではなかったのではないのでしょうか。基本構想および実行計画・総合戦略が示されました。実行計画にはそれを支える個別の行政計画があります。令和3年度からスタートする個別計画数は17。17の個別計画の進捗は、予算の根拠となるこ

とから急ぎよ配布されたものやパブリックコメント中のもの、策定されていないもの、策定されているが議会後に配布されるもの等があります。このことは、予算審議に際し、合理的な基準が示されていないかつたのではないのでしょうか。令和3年度予算は、総合計画に合致したものではないと判断しますが、総合的に判断し、賛成の立場での討論とします。

## 介護保険特別会計予算 反対討論（赤松義生議員）

保険料を若干とはいえ引き下げられたこと、保険料の徴収で、能力に応じた負担の原則を徹底されたことについては関係者の尽力に敬意を表したいと思います。

改定率は0.7%であり、深刻な人手不足、過酷な労働環境、経営難など介護事業所の抱える問題を解決するには不十分です。要支援のホームヘルプやデイサービスは2014年に総

合事業に置き換えられました。第8次の計画ではさらにそうした傾向が広がられています。また、施設の給食費など利用料の引き上げが行われ、介護を受けられなくなる人が増加することが考えられます。

## 後期高齢者医療特別会計予算 反対討論（赤松義生議員）

74歳まで子供の扶養に入っていた方でも75歳になると新たな保険料を払わなければならない年を取ってからは負担がかかることになり、さらには負担が重くなること

今開かれている通常国会には、年収200万円以上の方は来年10月から窓口負担を2割負担にするという法案が提出されています。そのことも含めて反対いたします。

# 常任委員会審査報告

## 総務厚生委員会

本会議から付託を受けた案件を、3月15日、審査した結果、議案は全会一致または賛成多数ですべて可決すべきとなりました。主な審査経過は次のとおりです。

### 条例

▽平生町消防団条例の一部を改正する条例

**質** 改正によって団員の数はどのように推移すると見込んでいるか。  
**答** 町外勤務者は、173名中93名で54%を占めている。今後の推移等については想定できていない。

### 事件

▽第五次平生町総合計画基本構想の策定について

### 反対討論

基本構想に人口ビジョン

が明示されていない、アンケート結果に基づいた指標が用いられていないSDGsの考え方が明記されていない。

▽公の施設に係る指定管理者の指定

**質** 指定管理者となる団体である老人クラブは、高齢化して活動は縮小、休止状態である。今後についてはどうか。  
**答** 今後については意見を伺いながら考えていきたい。

## 産業文教委員会

本会議から付託を受けた案件を、3月17日、審査した結果、議案は全会一致ですべて可決すべきとなりました。主な審査経過は次のとおりです。

### 補正予算

▽一般会計

**質** 危険な空家を除却するための補助金の活用は、また特定空家の現状は。  
**答** 除却については、利用されたのは1件のみ。特定空家は現在3件である。

### 事件

▽第五次平生町総合計画基本構想の策定について

**質** いかにもイタリアーノひらおをグレードアップしていくのか。  
**答** イタリア野菜の栽培、企業誘致としてピザやパスタのイタリヤ料理店への支援などを行ないグレードアップしていきたい。



2月18日 臨時会

補正予算の主な歳出



### 主な質疑

▽防災情報連携システム改修 9,046万円

積立金

3,224万円

▽新庁舎整備事業費

電柱移設補償 144万円

▽新型コロナウイルスワクチン接種対策関連経費 1,977万円

▽平生小プール配管補修 97万円



**質** 新型コロナウイルスの接種は人手的に手を入れていかないと業務が進まないのではないか。事務的な体制はどう考えているのか。  
**答** 接種が4月1日以降としか決まっていな。きちんと情報をいただきたいという話は県を通じて国に言ってもらっている。国からの情報に合わせて、準備も慎重に、また、なるべく早く対応できるように進めていきたい。

**質** 電柱移設補償は、今後交渉によって減額となる可能性はあるのか。  
**答** いろいろな話があったという話ですが、規定ですの無料ということになった。約半額の70万弱でやる予定。減額は検討していきなと思う。

(上写真)



赤松義生 議員

# いっぱん質問



が聞きたい



## その他の質問

- ・介護予防日常生活支援業務
- ・新型コロナ感染拡大抑制

## 質 原発事故は比較できない異質の事故との認識は

## 答 住民に重大な影響を与えると認識している

質

福島第一原発の事故から約10年になる。原子力緊急事態宣言は解除されておらず、溶け落ちた核燃料の状態もわかってない。今なお避難生活を送られている方は4万1千人、帰還困難区域は、7自治体にわたり、汚染水はたまる一方である。

答 町長

約10年後の現在、令和3年2月8日復興庁によると避難者は当初の47万人から4.1万人となり福島県から県外への避難者数は当初は6万2千人を超えていたが本年2月現在では2万8千人となっている。マスコミ報道によれば避難指示が解除後地域に帰還した住民は約4分の1の状況であり、避難先での定住が進んだことや放射能への不安などから、住民の帰還が増えないことも一因と考えられる。このような事故が発生すると住民に重大な影響を与えると認識している。



中電現地事務所前で行われた「上関原発を建てさせない山口大集会」東部地区集会

## 質 イタリアノひらお事業でオリーブ特産品化と漁業振興を

## 答 経済の好循環を図る

質

イタリアノひらお事業が取り組まれて2年になる。植樹イベントの時に町長は、オリーブの特産品化に向けて取り組むと表明したが、今後の計画はいかなるものか。

答 町長

町の試験圃場で栽培するオリーブは素材として特産品化に活用。収穫は植栽後3年を予定している。1本あたりの収穫量、搾油量、加工経費などの収支を予測している。将来的には、指定管理による栽培管理も含め検討を考える。

佐賀地域の漁業の振興については、この事業の中に含めて取り組んでみたかどうか。漁師をめざす方について、県の制度では月に15万円程度の補償で、アルバイトも禁止されており、生活ができません。これからの漁業の振興を考えれば、町独自の上乘せはできないか。

新規漁業就業者となる研修生に対する支援は国と県の事業があり、本町は国の事業を活用している。現在、上乘せはないが実態から必要性があると判断されれば検討する。



老いも若きもみんな一生懸命植えました。2月27日オリーブ植樹イベント





岩本ひろ子 議員

その他の質問

・新型コロナワクチン接種予定

質 SDGsの取り組みの考えは

答 住民にご理解いただけるように進める



質

持続可能な開発目標（SDGs）は2015年に国連サミットで採択された、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指すという国際目標である。日本国でも取り組みがすすめられ、各自治体でもスタートしている。コロナ禍において地球の問題は強いては自分たちの問題でもあることを実感している。町民一人ひとりが考えて行動し良い未来を作っていけるよう取り組みなければならぬ。取り組みについての考え

答 町長

SDGsは国連サミットにおいて採択された我々の世界を改革する持続可能な開発のための目標である。これは17の意欲目標、ゴールと、169の行動目標ターゲットと、232の評価指標インジケータが設定され貧困、飢餓、経済成長から平和まで活動目標とする広範囲なものである。SDGsに係る概念、知識はかなりのボリュームから職員を対象に研修や情報提供を継続する。その上で総合計画における施策とSDGsの関係性を明示し、住民に説明、周知を行い、実現の取り組みをご理解いただけるよう広報活動も含め進める。

質 自殺予防の取り組みは

答 啓発活動を推進し、予防対策に取り組む

質

新型コロナウイルス感染症拡大の長期化に伴って孤独な自殺者の動向は前年より908人増加、男女別では男性が26人減少、女性は934人増加、小中高生は前年より140人増加。山口県の動向は前年より19人増加。また、新型コロナウイルス感染症の影響による自殺防止対策の事業強化の取り組みで国からの交付金もできるようになっているので当町の現状に応じた事業計画を策定していく取り組みが必要と考えるが、町長の考えは。

答 町長

令和2年度の全国的な自殺者の動向は前年より908人増加、男女別では男性が26人減少、女性は934人増加、小中高生は前年より140人増加。山口県の動向は前年より19人増加。平生町の動向は平成21年から30年の10年間平均で1年間3人の方が亡くなられている。表がなく把握できない。自殺の背景には精神保健上、過労、生活困窮、育児や介護疲れ、いじめ、孤立など様々な社会的要因が知られている。

平生町では今年度「平生町のち支える自殺対策推進計画」を策定。この計画の実行を通じて誰も自殺に追い込まれることのない平生町を目指す。

自殺者における有職・無職及びその内訳（平成21年～30年）

有職 22%	自営業・家族従業員	4%
	被雇用・勤め人	18%
無職 78%	年金・雇用保険等生活者	32%
	失業者	9%
	主婦	9%
	学生・生徒等	5%
	その他	23%

出典：厚生労働省「地域における自殺の基礎資料」







細田留美子 議員

## 質 窓口業務のあり方を聞く

### 答 デジタル技術を活用したい

質

窓口業務は町の印象を決める大切な仕事だが現状について聞く。

1. コロナ禍での業務の検証と今後の改善策

2. 春の異動時期の対応

3. クレームへの対処

4. 外国語への取り組み

20年後には生産年齢人口が急減し職員数も同様になる。住民が不自由しない体制作りのため、行政手続きの見直しや簡素化は進んでいるか。新技術の活用方針はどうか。

答 町長

窓口は透明ビニールの仕切りとアクリルパーテーションを設置。各交流センターにはサーモグラフィの設置を予定している。

春は、窓口待ち時間が長くなる課題がある。新庁舎では来庁舎の方が移動しなくてすむように対応していきたい。

クレーム対応は相手の考え方や心情を理解し、冷静に対応する。

外国語の対応は広島広域都市圏連絡協定に基づき、広島市外国人市民の生活相談コーナーを利用する。また、多言語翻訳機器等の活用も検討する。

行政手続きに最新のデジタル技術を活用したい。



## 質 農地をみんなで守れ

### 答 国に本町の取り組みに合う施策を要望している

質

就農者の高齢化や水路、施設の老朽化と共に耕作放棄地や農地転用が進み平生町の農業は危機的状況にある。取り組みの成果とこれからの農業施策は。

農地は食料の安定的な確保や環境保全、地域社会の形成に役立っている。町民に安全・安心な環境と食料を届けることは行政の使命だ。

地産地消で地域内でお金が循環していけば町内が豊かになる。市民農園の活用で野菜等の自給自足が可能になれば移住を考える人にも魅力だ。コロナ禍で田園回帰の流れも生まれている。

「イタリアノひらお」事業は農業振興と町の知名度向上策としてどのような活用を考えているのか。

答 町長

本町では尾国、大野、曾根地区での圃場整備や農免農道などのハード事業に取り組んできた。ソフト事業では日本型直接支払制度の取り組みの推進や新規認定就農者への支援事業に取り組んできた。

環境型保全型農業の推進については、町で行ってきたこだわり栽培農産物の認証制度は特産品センターの法人化に伴い、特産品センターの出荷規定による三ツ星野菜ブランドとして承継されている。

遊休農地が太陽光発電事業者に売却される事例も多く発生している。国に対して本町の実情と国の政策のずれを説明し、本町の取り組みに合う施策を要望している。



中本敦子 議員

## 質 企業誘致の取り組みは

### 答 IT企業系の誘致の必要性を感じている

質

近隣の市町では企業誘致に成功したニューアスがテレビ等で報道されている。平生はどのような取り組みをしているのか。

1. 向井原沖工業団地はすでに太陽光が設置されているがまだ場所はあるのか。また、複数企業の撤退後の現状は。  
2. 水や電気等の心配はないか  
3. 人口減少の歯止めのために自然が美しい住みよい町をアピールし、ベッドタウン化を考りよしてはどうか。

答 町長

現在、町が保有する工業団地等もなく、従業員を雇用できる工場等を誘致できる広大な土地も町として準備できないこと、大量の工業用水が確保できないなど、対外的にアピールするだけの材料が乏しい。

空き工場、未利用地については所有者に聞き取りを行った上で了承が得られれば県のホームページ等で公表し、工場跡地の活用実績が挙がっている事例もある。

本町ではIT系企業を誘致することの必要性を感じており、県のITサテライトオフィスに加入し、PRパンフレットの作成等、県と一体となって企業誘致活動を行っており、企業が必要とする進出可能な土地、建物等の実態把握を行いたい。

## 質 環境整備・美化で経済効果を

### 答 年度ごとに事業箇所決めて進めていく

質

「野山川がきれいになってきている。」と町民の喜びの声を聞く。財政難の中、環境整備に工夫が感じられる。大星山登山道周辺、ハートピア周辺、神花山古墳の周辺、川もきれいになってきている等々、美しく整備されている様子に幸せを感じる。

一方、一部では、金がないとまた以前のようになると不安視する声もある。環境整備は今後も可能か。併せて観光案内板や道しるべの設置はできないか。  
美しい町をどう観光や経済効果につなげるのか。

例えばサザンセト・ロングライトの参加者、上関町への観光客などをす通りでなく、足を止め、お金を使う工夫はできないか。

答 町長

案内看板の設置は、国道沿いにひらお特産品センター、大星山展望台、阿多田オリーブパークへ誘導する案内看板を設置している。また、ひらお特産品センター敷地内の観光案内看板が観光協会によりリニューアルされ、町が推進しているイタリアーノひらおをベースとしてデザインすることで通行者にも町の取り組みをPRすることができ、相乗効果が図られたと感じている。環境美化は、自然環境の保護や、文化財等を将来世代に引き継ぐ上で重要である。

ゆめはな開花プロジェクト推進事業は令和4年度までの実施期間となっており、町内8ヶ所の案内看板の改修や神花山古墳や夫婦松、堀川南蛮樋周辺の環境整備を行う。



中丸和則 議員

## 質 責任水量の有効活用を

### 答 水道料金と設備が高額なため困難と考える



弥栄ダム

質

平生町（田布施・平生水道企業団）には、人口の多かった時、弥栄ダムが建設され、取水負担として、構成市町に責任水量が課せられ、これが水道料金の高い原因にもなっている。この責任水量を有効活用したらどうか。太陽光発電と連動させて水を電気分解し水素を生成させたら良いのではないか。

答 町長

今後、水素社会になるのではないかと考える。国で、「国立研究開発法人新エネルギー産業技術総合開発機構」において様々な研究がなされており、周南市では、民間企業が水素を販売している実績もある。責任水量について、町は85%程度の受水率で構成自治体の中では1番の受水率である。水素の製造は利益が出るというのであれば可能性はあるが今の段階では、作るという想定にならない。水道料金が高額なこの地域で、高額な設備投資を必要とする事業を町として実施することは現実的ではなく、民間企業としてもこの地域での事業展開は困難ではないかとも考える。

## 定例会の結果（反対があったもの）



令和3年 第2回平生町議会定例会		
議案番号	件名	審議結果
議案第3号	令和2年度平生町一般会計補正予算	原案可決（反対1）
議案第10号	令和3年度平生町一般会計予算	原案可決（反対1）
議案第15号	令和3年度平生町介護保険事業勘定特別会計予算	原案可決（反対1）
議案第16号	令和3年度平生町後期高齢者医療事業特別会計予算	原案可決（反対1）
議案第26号	第五次平生町総合計画基本構想の策定について	原案可決（反対2）

## 魅力ある議会づくり調査特別委員会

令和3年2月3日、2月18日に委員会が開催され、6月22日の委員会にて協議した「アンケートの実施」についての具体的な内容・方法等について協議をしました。

住民アンケートの実施については、2月27日の広報発行日にあわせてアンケート用紙を全戸配布するとともに、公共施設やインターネット等で3月31日まで受け付けました。

いただいたご意見を基に、より良い議会になるよう皆で、協議してまいりたいと思います。御協力ありがとうございました。

なお、集計結果は、後日ご報告します。



## 原稿募集

議会のこと、我が町自慢、つれづれに思うことなどお願いします。

- ・ 字数 400字以内
- ・ 提出先 平生町役場議会事務局 議会広報担当者

紙面の都合で一部変更することもあります。ご了承願います。掲載文には薄謝を差しあげます。

### 人事案件

#### 「平生町固定資産評価審査委員会委員」の選任に同意

令和3年3月23日に任期満了となりますが、引き続き小島康司さんが選任され、全会一致で同意しました。

#### 「人権擁護委員」の推薦に同意

五味洋子さんが令和3年6月30日の任期満了に伴い勇退されることから、新しく遠藤敦子さんが推薦され、全会一致で同意しました。

### 令和3年6月定例会会期（予定）

6月3日	木	9時	議会運営委員会
7日	月		全員協議会
15日	火		本会議
16日	水		本会議
17日	木		産業文教常任委員会
21日	月		総務厚生常任委員会
23日	水		議会運営委員会
24日	木		本会議

### 議会の動き

12月11日	(R2・12/11) (R3・3/7)	第10回定例会	1月7日	広報広聴調査特別委員会
12月11日	12月21日	広報広聴調査特別委員会	1月14日	広報広聴調査特別委員会
12月11日	12月21日	広報広聴調査特別委員会	2月3日	魅力ある議会づくり調査特別委員会
12月11日	12月21日	広報広聴調査特別委員会	2月10日	柳井地域広域水道企業団議会定例会
12月21日	12月21日	広報広聴調査特別委員会	2月12日	柳井地区広域消防組合議会定例会
12月23日	12月23日	田布施・平生水道企業団議会定例会	2月17日	周東環境衛生組合議会定例会
12月24日	12月24日	柳井地区広域消防組合議会定例会	2月18日	令和3年第1回臨時会
12月25日	12月25日	広報広聴調査特別委員会	2月25日	魅力ある議会づくり調査特別委員会
12月25日	12月25日	柳井地域広域水道企業団議会定例会	2月26日	議会運営委員会

### 編集後記

3月議会も無事に終り、コロナ関連の多くの予算が成立しました。

昨年のダイヤモンドプリンセス号で発生以来、未だにコロナ感染は収まっていません。現在も世界で猛威を振るっており、ウイルスも変異し、感染が拡大しています。

ワクチン接種が始まりましたが接種は遅れています。遅れている理由はEUの輸出規制によるもので、ワクチンを運ぶ航空機一便ごと承認が必要とされて、この規制が6月までに延長されたことによりワクチンの入荷が遅れているようです。

国内企業もワクチン開発を進めているものの現状は外国頼みです。他にも外国頼みはIT、食料、衣料、各種部品、防衛など外国頼みが多すぎます。何とかせんにや日本。

村中仁司